

「菊池トルコ」ベースアップでブランド確立を!!

出荷査定会(北宮農センター R7.11.28)

「菊池トルコ」のベースアップに向け、出荷規格の大幅な変更と現地検討会の強化を決めました。トルコギキョウの品種は多種多様で栽培管理、出荷調整作業に手間がかかります。生産者の負担軽減と品質向上、レベルアップに向け、市場担当者との協議を重ね、今シーズン出荷規格を変更しました。トルコギキョウの本山達也専門委員長は「部会員の意識統一で花もちが良く、ボリュームのある菊池トルコブランドを確立したい」と願いを込めました。現在の出荷品種は約150種類。生産者20人が6月まで出荷します。気候変動により、栽培管理も難しくなっています。生産者の手間を少なくし、品質向上を目指し、現地検討会や全体研修を増やして、品質の良いトルコギキョウを届けます。(担当:富田)



集荷されたトルコギキョウを見ながら出荷規格を確認

現地検討会(生産者の圃場巡回 R7.12.3)

こまめな芽整理を行い、品質向上を図るため、定期的な現地検討会を行います。



生産者圃場で生育状況を確認

品種検討会(パシオン R7.12.10)

収穫、調整、選別、仕立ての4項目に細かなチェックポイントを定め、地域性や季節感、消費者ニーズに合った色や形に応えようと品種検討を重ねています。



種苗メーカーより細かな品種の特徴などを聞きました

● 販売会 ●

11/22

福岡三越のライオン広場で、熊本県産フェア「いい夫婦の日マルシェ」を行いました。



ミニブーケを販売

花卉部会女性部役員の赤星淳子さん、岩下絹代さんが菊池の花をアピールしました

● カスミソウ現地検討会 ●

10/1

生産者のハウスで現地検討会を行い、カスミソウの生育状況や管理状況を確認し、意見交換を行いました。

